

課題事項について

題名	内容	回答
撮影料金について 【放射線技師会】	遺体検案時に医師・診療放射線技師など人手がかかっており、撮影料や読影料だけではなく、Ai チェックシートを活用した標準化やタスクシェアなどで読影補助加算や遺体取扱料加算などが認められ、診療報酬で請求できるようになると、多くの医療機関で死因究明を図る上で前向きになれるのではないかと。	第2次死因究明等推進計画の策定に向け、今年度実施している死因究明等推進計画検証等推進会議（第3回）の場でも、死亡時画像診断の費用について議論があった。出席委員の意見として、「原因不明で亡くなった方はできるだけAiで撮影しているが、その費用はなかなか請求できず、全て病院負担でやっている。Aiを進めていくと病院の持ち出しが増えるので、費用負担について考えていただけるとAiが進んでいくのではないかと。」等あり、「費用の問題については、いろいろな実情を踏まえて、今後整理して議論していく。」とのこと。このことを踏まえて検討していく。